



す ま い る

園小中 箱根教育 合言葉「箱根を愛し、かしく、やさしく、たくましく」



今年の漢字は「金」になりましたね。思い起こしてみると、厳しい状況の中で、1年遅れで開催された東京オリンピックでは、選手達のひたむきな姿に感動や勇気をもらいました。特にスケートボード等新しい競技では、若い世代の人達の活躍が際立ち、スポーツの新しい楽しさを感じ、子ども達の興味も広がったことを思い出しました。

さて、2学期の目標は、「やってみよう」でした。そこには、大人から言われてやらされるのではなく、自ら「やってみよう」という気持ちを持ってほしいという願いがありました。子ども達一人一人を見ていて、日々いろいろな場面でその「やってみよう」が伺えたと思います。跳び箱の6段を目指す子、自転車に挑戦する子、ちょっと苦手な生き物と関わろうとする子、苦手な乗り物に乗ろうとする子、ピアノを弾いてみたいと練習する子、遊びに必要なものを作りたいと考える子等々…。まだ、生まれて間もない子ども達です。毎日出会うことが「はじめて」もたくさんあります。大人でも初めては躊躇してしまうことも多いですが、子ども達は初めてのことも友達と一緒にだと大きな勇気になり、またそこに関わる保育者が気持ちを支え、アドバイスすることで「やってみよう」という気持ちが育ってきたと思います。そして、園でできたこと、やってみたことを保護者の方や地域の方が一緒に喜んでくれたことが、子ども達の次への意欲に繋がっていきました。感謝すると共に、箱根幼稚園の子ども達一人一人に「金」をあげたいと思います。2学期もあと数日で終わります。2学期は園外での活動も増えましたが、そこで支えてくださった方々、本当にありがとうございました。どうぞ皆さま、良いお年をお迎えください。

子ども達が考えた「サンタパーティー」

8日、「サンタパーティー」が行われました。年間の中で位置づけられている行事ですが、どれだけ子どもが主体的に関わり、子ども達の考えが活かされるかが、保育者の課題です。経験のある4、5歳児が今までの経験を振り返りながら、今年の会をどうしていきたいかアイデアを出し合い考えていきました。会の中心になったのは、劇とゲームのコーナーです。お話作りでは、登場人物は何にするのか？どこにいるのか？何をしているのか？どうしたいのか？保育者が子どもの考えたことをストーリーになるようにつないでいきました。その中では、自分の好きなことや得意なことも組み込まれていきました。いいなと感じたのは、みんな自分の好きなことや得意なことがそれぞれにあり、違っていること。勿論、友達と一緒に楽しむこともたくさんありますが、友達と違うということを安心して表現できるのは、**Only one** の存在を十分認められているからでしょう。

ゲームコーナーでは、プレゼント交換など新しいゲームも考案。音楽が流れている時に自分の作ったプレゼントを隣の人に渡し、音楽の止まった時に持っているプレゼントをいただく。という大人には馴染みのあるものですが、音楽を聞きながら全員でプレゼントを回すことがなかなか子どもには難しい。そこで考えたことは、同じ言葉を言って回すということです。「アイスクリーム」「サンタクロース」など、声を合わせながらプレゼントを回すとだんだんとタイミングが合っとうまういきました。そんなアイデアも面白いですね。そしてプレゼントを作っている時、「私のプレゼント喜んでくれるといいな。」と言っていた5歳児。誰かの喜ぶことが自分の喜びになる、誰かのためになりたい。そんな心の成長が感じられました。3歳児にとっては初めてのパーティー。家族に見守られて嬉しさからか、おどけてしまう姿も。4歳児は、5歳児に交わりながら、当日までの中で4歳児なりのアイデアを出しサンタクロースに会えることに期待をもちながら参加していました。5歳児は、企画や進行をしっかりと行いたいという姿がありました。どれも成長の一つですね。次の日からは、保育者が見せたペープサートのお話を子ども達が役割を交代しながら演じています。1度聞いただけの話のストーリーやセリフを覚え、演じ始めたことに驚きました。この経験がまた次の何かに繋がっていくことでしょう。



冬の大収穫祭

畑で育てたブロッコリー、キャベツ、白菜、カリフラワー、レタス。地域の方に苗をおすそ分けいただき育ててきました。どれも見事に大きくなり、子ども達と収穫。どのように採るか考えた子ども達は、絵本「おおきなかぶ」のイメージで、「うんとこしょ、どっこいしょ。」と言いながら引っ張って収穫しました。収穫した野菜と地域の方に頂いたかぼちゃは、サラダとシチューとバター焼きにいただきました。子ども達は「おいしい！」と何度も言いながら食べきっていました。



園小連携

箱根の森小学校の1.2年生からお招きを頂き、学習発表会に行ってきました。先輩たちの成長した姿は、年長児にとっては憧れになり、自分達の来年の姿に照らし合わせていました。来週は、同じく1、2年生のおもちゃランドに伺います。楽しみです。感染予防を徹底しながら、学校を訪問できる機会を設けて頂きありがとうございます。子ども達の学校への期待が膨らんでいるところです。